

議会だより さんのへ

第192号 (令和4年3月議会号)

P2	三戸びと ピックアップ特集
P4	一般会計予算の概要
P6	一般質問(6議員)
P12	議決結果一覧
P13	議案審議、臨時会報告、請願・陳情審査
P14	議員活動レポート
P16	6月議会予定・編集後記

三戸農業小学校開校！

4月23日、令和4年度の三戸農業小学校の活動が始まりました。参加した小学生18人は、さわやかな青空のもと、ジャガイモの種芋を半分に切り、畑に1つずつ植えました。今後は田植えや他の野菜を植え、夏から秋には収穫したり販売したりと活動が続きます。

(写真撮影：山田将之)



三戸びと ピックアップ 特集



4月12日、商工会において、三戸城跡の国の史跡指定を受け、今後の城山公園の整備や中心街活性化への効果の波及を促すため、地域経済に深い関わりのある三戸町商工会の役員の皆さんからお話をうかがいました。

国史跡 三戸城跡を活かし 中心街の活性化を

参加者

三戸町商工会

会 長 釜澤 英文さん
副会長 佐藤 雅之さん
〃 手塚 克則さん
専務理事 大平 昌人さん
青年部長 越後 宏司さん
女性部長 松井 和子さん

議会広報編集委員

佐々木和志 藤原文雄
千葉有子 栗谷川柳子

Q1 城山公園の活用・整備 について

釜澤 来場者がただ素通りしているだけのようなので、飲食等ができるお店が必要ではないでしょうか。食品の自動販売機を設置するだけでも、そこで休んで滞在時間が長くなるのと思うのでぜひとも取り組んでもらいたいと思います。商工会としても何らかの

形で協力できればと思っています。

大平 城山全体の自動販売機の台数が少ないと思います。設置台数をふやせば、人件費もかからず、来場者が利用しやすいかなと思います。また11ぴきのねこの活用も考えてもよいと思います。

佐藤 お土産等を扱う店があればいいのではないのでしょうか。また、温故館の開館時間や冬季閉山など、時間や時期の制限があるので御城印を求めて来町する人のために、役場や町内にも販売場所を設けてはどうでしょうか。

手塚 整備の方向性は、城跡・歴史をメインとした公園整備がよいと思います。

佐藤 発掘された遺構は埋め戻した状態ですが、一部でもいいので分かりやすいように掘り起こして、石垣等が見られる状態にすればよいと思います。

大平 展示するだけでなく子どもが楽しめるような体験型の資料館施設を整備してはどうでしょうか。

越後 安心して散策ができるよう防犯カメラの設置も必要ではないでしょうか。また、

遊具の破損が見受けられるので点検、整備を徹底した方がいいと思います。

佐藤 桜をもっと植樹した方がいいと思います。

松井 女性部の部員から、書面にまとめた意見を頂きましたので紹介します。

▼一日中楽しめるようなテーマパーク的な公園にしてはどうでしょうか。

▼鶴亀の池付近にキャンプ場や宿泊のできるコテージを作ってはどうか。

▼遊具を増やし、アスレチック的な施設を作ってはどうか。

▼軽食を気軽にとれるような施設や設備を作ってはどうか。

▼整備の資金にクラウドファンディングの活用を検討してはどうでしょうか。

▼ロープウェイ(リフト的な)の設置を考えてはどうでしょうか。

Q2 城山公園のアクセスや中心街活性化について

手塚 ハローワーク跡を観光案内所やインフォメーションセンターとして活用し、歴史関連グッズを販売してはどう

でしょうか。

大平 城山にあるあまり使われていない既存の遊歩道を整備して、ウォーキングコースを作れば来場者も増えるのではないのでしょうか。

手塚 ふくじゅそう3階から城山への渡り廊下を作れば、中心街から城山へのアクセスの拠点として活用できるのでないでしょうか。

越後 城山への道順がわかりづらく迷っている来町者が見受けられます。中心街に城山への案内板を数多く設置した方がよいのではないのでしょうか。

佐藤 中心街に、高齢者が長時間バスを待つ間、安心してゆっくり待てるような屋根付きの待合所を整備してはどうでしょうか。

大平 国の史跡指定によって観光客は増加すると思いますが、通過点にならないよう宿泊施設は必要だと思います。

手塚 宿泊施設ができると、観光客による経済効果にも期待が持てると思います。
(宿泊施設の必要性に関しては他の参加者も全員同意見でした)

Q3 議会やまちづくりに対して

手塚 川の氾濫や橋の決壊に備えて、災害時の避難所を町中心地にもう一か所設けることを検討してはどうでしょうか。

大平 昨年のコロナワクチン接種の際、アップルドーム内がとても暑かったです。今後災害時の避難所ということも考えて、エアコンを設置してはどうでしょうか。また、ラジコン公園や金洗沢公園が有効に活用されていないように感じます。キャンプ場のような他の活用方法も検討した方がいいと思います。松原公園の遊具の管理はきちんとされているのでしょうか。使いづらい遊具も見受けられるので管理をしっかりしてほしいと思います。

議会による取り組みに関しては、以前より活動が見えてきているように感じるという意見を頂きました。今後活動強化し町民の負託に応えられるよう努力して参ります。ご協力ありがとうございました。(佐々木 和志)

トピックス

関根ふれあい公園トイレリニューアル!!

関根ふれあい公園のトイレが、リニューアルされました。これまでのトイレは老朽化も見られ、利用者からは利用しづらいとの声があり、議会においても一般質問でたびたび取り上げられていました。

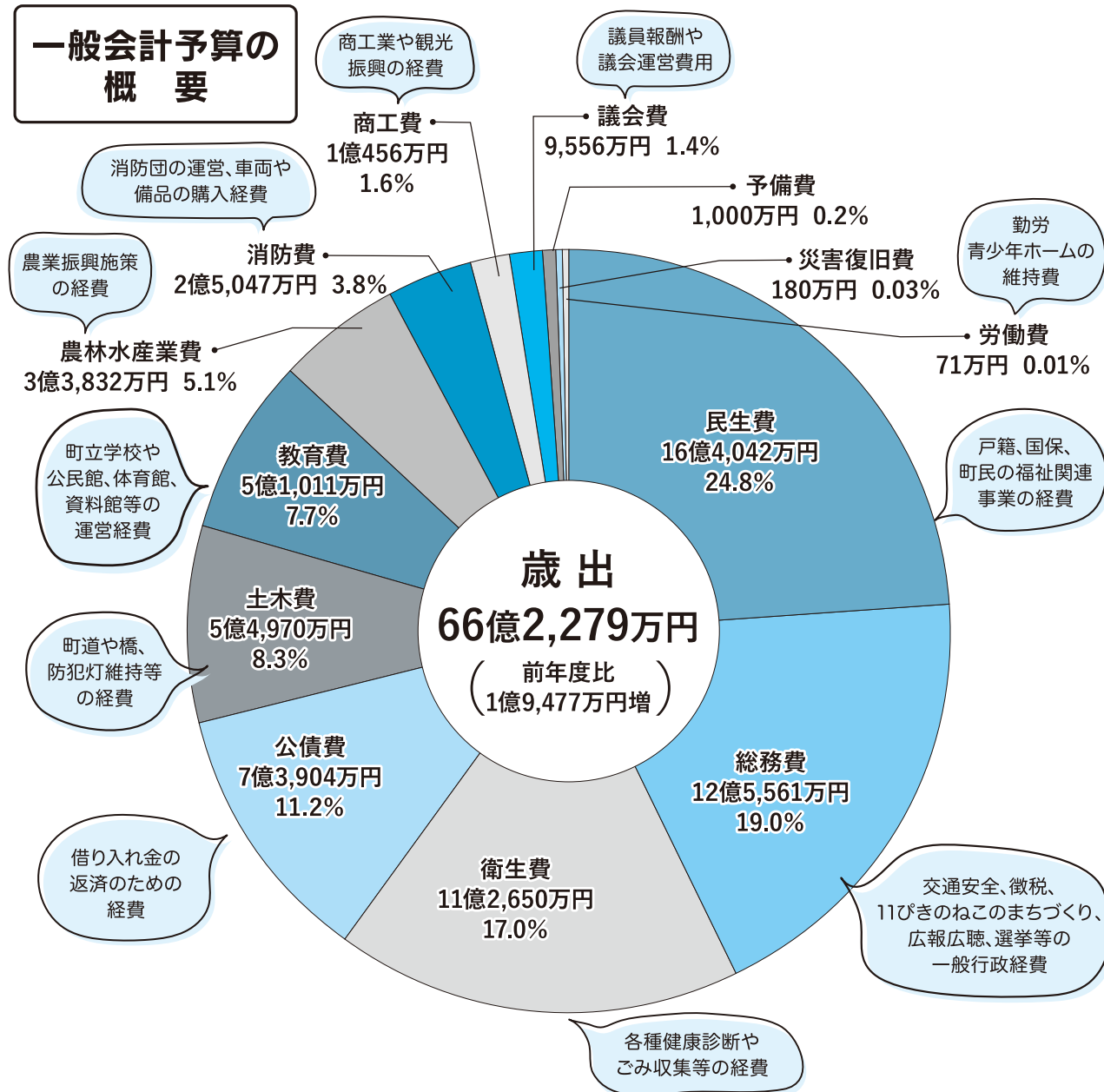
新たなトイレは水洗式の洋式便座となり、障害のある方や小さな子ども連れでも利用しやすいバリアフリートイレも備えています。関根ふれあい公園には、11ぴきのねこの石像やラッピングバスも設置しており、町外からの観光客にも快適な設備となりました。



新年度のまちづくり予算を 認定しました。

令和4年度各会計予算を可決

一般会計予算の 概 要



特別会計予算額

会計名	新年度予算額	前年度比
学校給食共同調理場	3,585万円	58万円減
町営簡易水道事業	7,011万円	1,932万円増
下水道事業	2億1,620万円	591万円増
後期高齢者医療	1億4,170万円	168万円減
介護保険	17億9,047万円	150万円増
国民健康保険	12億6,921万円	5,513万円減
三戸中央病院(収益的支出)	18億18万円	4億7,695万円減

令和4年度の予算審議

私たちはココを チエツクしました。



3月10日と11日の2日間、令和4年度の三戸町のまちづくり事業費である各会計予算について、藤原文雄議員を委員長とし、全議員で構成する予算特別委員会により、その内容を審査しました。主な質疑は次のとおりです。

11ぴきのねこ石像製作 委託料205万円

Q 柳澤圭太委員

どのような石像を作る予定なのか？

A まちづくり推進課長

ねこの石像は11体そろったが、今後もしねこのまちづくりを進めていくため、サブキャラクターの石像を製作する予定。

移住定住ポータルサイト 改修委託料363万円

Q 栗谷川柳子委員

移住定住ポータルサイトは、開設時と同じ業者に委託するのか。また検索しづらい、迷子になるなどの声を聞くが、閲覧数は上がっているのか？

A まちづくり推進課長

製作業者は解散したため、新たな業

者となる。その際、見やすく使い勝手
のよいものになりたい。

社会福祉協議会運営費 補助金2143万円

Q 久慈聡委員

社会福祉協議会の補助金が600万円増額している。人件費だと思いがなぜ急に上がったのか？

A 住民福祉課長

社会福祉協議会へ補助金を交付するにあたり、まず6人分の人件費を計算し、金額を決め、次に社会福祉協議会の事業の収支を見て、黒字が大きければ一定額を引き下げる決まりとなっており、今回は前年度より黒字が少なかったため増えているように見えるものである。

葉たばこ生産環境 改善事業費補助金

Q 澤田道憲委員

葉たばこの補助金700万円は前年度と同額だが、その中身は？

A 農林課長

葉たばこの廃作の募集で農家は減っ

たが、全体の事業費は4200万円が見込まれ、前年度同様6分の1の補助率で700万円となったもの。

肥料高騰緊急対策事業費 補助金1661万円

Q 乗上健夫議員

当該補助金の内容は？

A 農林課長

新型コロナウイルスやウクライナ戦争などあり、ことし春の肥料が10%価格が上昇すると見込み、その半分の5%を補助するもの。

国史跡指定記念イベント 運営業務委託料100万円

Q 竹原義人委員

令和4年は町の観光元年ともいえるチャンスだが、記念イベントとしては100万円の予算しかない。どんなイベントを計画しているのか？

A まちづくり推進課長

イメージとしては、戦国時代を再現、連想できるようなイベントを考えており、詳細は企画会社とこれから詰めていく。

観光看板等整備工事請負費 230万円、観光施設等改修工事請負費680万円

Q 久慈聡委員

この2つの事業費は、どのようなものを作るものなのか？

A まちづくり推進課長

観光看板は旧石亀商店跡、旧石亀スタンプ跡に三戸城跡への誘導看板を設置するもの。観光施設等改修は、町内の観光看板の「城山公園」を「国史跡三戸城跡」に統一するもの。

公営住宅整備事業基本計画 策定等業務委託料850万円

Q 佐々木和志委員

基本計画ができて、事業概要を説明できるのはいつになるか、また用地購入は何月の予定か？

A 建設課長

契約は年度末を予定しているが、途中でタイムリングを見て説明したい。用地購入は土地鑑定や基本計画、事業認定等各種手続きが整った時点で購入となる。

来年の成人式について

Q 小笠原君男委員

公民館費の報償費と委託料について、記念品は何を目的としたものか、また来年の成人式は著名人による公演は行わないのか？

A 教育委員会事務局長

記念品は成人式記念品で、ひとり2千円の75人分。講演会は、今年が合同開催という特別な形であったことによる開催で、来年以降は予定していない。



久慈 聡 議員



Q1 松尾町政二期目における、三戸町復活に向けての社会構造構築について

令和2年12月に2期目を迎え、通算6年目となった松尾町政は、新型コロナウイルス感染症の影響に負けずに三戸復活に向けて力強く取り組んで行く必要がある。

このような中、町がこれまで取り組んできた以下の4点について、現在までの経過と、現状の分析、令和4年度の計画と今後の予測などについて伺います。

- ① 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1481万円を投入し、アツプルドームに設置した「コワーキングスペース」の状況。
- ② お試しサテライトオフィスの

状況。

- ③ 病後児保育ジャブの状況と今後の取り組み。
- ④ 地域商社「SANNOHWA」の状況と、読売広告社撤退後の運営。

A 松尾町長

- ① 開設から11か月が経過し、利用者は当初の目標の1400人に対し、2月末で671人。内訳は町民が6割、町外・県外の方が4割。年代は一般54%、高校生41%、大学生5%である。

県内外10の自治体や民間5社による視察や、町内事業者がここを活用して事業を実施するなど、多様な利用が図られており、利用者からも通信環境や利便性の良さが評価されている。

- ② 平成29年3月の供用開始から、24組35名が利用し、うち1名の移住につながった。利用者アンケートでは通信環境や居住性の評価の一方、県内でのビジネス情報の不足や冬季の生活への不安などの意見もあった。
- コワーキングスペースも含め、先進地視察やIT企業とのマッチングイベントに参加

するなどし、企業の地方進出やリモートワーク移住の可能性を模索したい。

- ③ 令和2年度の登録者は49名、利用延べ日数は20日。令和3年度は69名、20日となった。

開設以来町内外に積極的に周知し、認知度は確実に上がっている。

- ④ 設立から3年が経過し、ここ2年はコロナ禍により販路拡大の商談ができず、商品流通量の減少もあり、第3期はふるさと納税返礼品に主軸を置いた。その結果、補助金を除いた売り上げは第1期519万円、第2期1838万円、第3期2232万円と増加しており、3年後の黒字化が期待できる。
- 読売広告社は契約により撤退するが、これまで以上に責任と危機感をもって運営していく。

再質問①

コワーキングスペース設置時の目的である、にぎやかなまちづくり、事業所の誘致および移住定住は達成したのか。

A まちづくり推進課長

事業所の誘致、移住定住の実

績はないが、県の東京事務所を通じ、コワーキングスペースやお試しサテライトオフィス等の事業に企業が興味を持ち、今後利用したいという話も聞かれており、注目されてきている。



コワーキングスペースSANNOHWA

再質問②

病後児保育施設は、新型コロナウイルスのため、当初の三病ではなく旧中央保育所に設置されたが、逆に医師のいる三病かその近くがよいと思うが、移動の考えはあるか。

A 住民福祉課長

新型コロナウイルスの状況によるが、終息後は病院へ移転する方針である。

再質問③

サンノワの令和4年度予算は、旅費、商品開発費、備品消耗品、アドバイザー費がゼロ。荷造運送費は減少、販売促進費は9分の1。町はこれをよしとしているがまた赤字が出るのではないか。これを町民に公表できるか。

A まちづくり推進課長

これまで、目的を達成するため、販売チャネル数も獲得し、外貨を獲得できているため、今後も商品開発や販路拡大、収益増に向けた取り組みを町は応援し、3年後の黒字を目指す。

再質問④

サンノワの運営状況についてこれまで年に1、2回報告は受けていたが、今後は四半期に1回など定期報告ができないか。

A まちづくり推進課長

取り組みや実績を知ってもらう会報誌の作成を取締役に提案し、皆さんにお知らせする機会をつくってきたい。



山田 将之 議員



Q1 地域商社「SAN NOWA」に関する新聞報道について

新聞報道において、地域商社「SAN NOWA」に関する記事が掲載された。読売広告社撤退、町が全株式取得、運営継続という内容だが、改めて内容の説明と、町長の考えを伺います。

A 松尾町長

地域商社サンノワの共同出資者である読売広告社とは、契約により「第3期以降の当期純利益が140万円を下回った場合は、町は読売広告社が保有するサンノワの株式を全部買い取る（以下略）」と撤退条件を定めており、今期決算が純損失であったことから撤退となった。

今後はふるさと納税の売り上げをさらに伸ばし、加工品販売等も新型コロナウイルス拡大前の売り上げに近づけることを目指す。

これまでにの取り組みを無駄にせず、地域産品のブランド化による地域活性化の役割を果たしてもらいたいと考えている。

再質問①

条例では1500万円以上の動産、不動産の買入れは、議会の議決が必要となっている。今回当初の町の出資金1020万円に加え、読売広告社の980万円分の株式の買入れとなり、最終的に2000万円の出資となったが、当初からその可能性があったことから、議会の議決が必要ではなかったか。

A 総務課長

会社設立時の資本金が2000万円であったが、読売広告社の分980万円は、地方公共団体の財源ではないので、条例による議会の議決が必要な案件からは外れるもの。

再質問②

記事の最後「町は当初の目的である農業所得の向上に向け」とあるが、これまでの実績は。

A まちづくり推進課長

町内生産者との取引件数は、令和元年が13件で333万7千円、令和2年に20件の483万2千円、金額合計817万円となっている。町全体のアップとまでは言及できないが、サンノワがあったからその取引額である。

Q2 公共施設老朽化に対する今後の対策について

町内には多くの公共施設等があるが、老朽化により利用者に被害を及ぼす危険性や、利便性の視点からの課題が見受けられることから、次の点について伺います。

- ① 老朽化した施設の整備について今後どのように取り組むのか。
- ② 老朽化が進む施設の計画的な改築や建替えなどについてはどのように考えているか。

A 松尾町長

- ① 三戸町公共施設等総合管理計画の基本方針により、配置・総量の適正化による財政負担

の軽減を図ることとしており、人口減少等による利用需要の変化や財政状況の見直しを踏まえ、施設の複合化、集約化、廃止により総量の縮減を行う方針である。

- ② 各施設のサービス向上や財政負担の軽減を踏まえ、民間的手法の活用を検討するほか、必要に応じ近隣や関係自治体との共同利用・運営も視野に入れていく。具体的には町営住宅整備事業をPFI事業とするほか、水道事業の広域連携について、自治体と水道企業団で公共施設の在り方の検討・協議が予定されている。

再質問①

平成28年度策定の公共施設総合管理計画によると、施設の更新費用が40年で366億円であり、1年平均9億円となるが、これまでの実績をみれば、4億円から5億円増額が必要ではないか。

A 財政指導監

老朽化施設については必要に応じ修繕や工事をし、長寿命化対策を行いたいと考えているほか、利用状況や危険度、修繕と廃止の費用等を勘案し、廃止や

再質問②

議案である三戸町公共施設整備基金条例は、役場庁舎の整備に要する経費の財源に充てるとの事前説明で、条文もそのようになっているが、他の市町村では「公共施設の整備」としている。なぜ「役場庁舎」に限定しているのか。

A 財政指導監

この基金を計画したときに、まず、大きい金額が必要な役場庁舎の改修や整備更新を試算し、根拠としている。この基金を役場庁舎の整備に使うが、危険度や緊急性が高いものについては、町長が特に必要とするものとして柔軟に対応する。



平成8年建設の役場庁舎



千葉 有子 議員



Q1 放課後児童施設の運営について

放課後の子どもの居場所の運営・活動は、物的・人的環境によって大きく左右されるため、大人が環境を整えることが重要と考えることから、次について質問します。

- ① 中央児童館、斗川児童館、三戸小なかよし教室、ほっとステーション、ミューズ保育園 学童保育、それぞれの職員・支援員の雇用形態とその人数は。
- ② 中央児童館と斗川児童館は現状のまま、町が運営するのか、民間委託するのか、将来的な町の考えは。
- ③ 町内で産み育てる環境づくりのため、資格を有した放課後学童支援員の、町職員としての採用について町の考えは。

④ 中央児童クラブの設置場所が老人センターであるため、これを利用する高齢者の居場所に支障が出ているようだが、改善策はないか。

A 松尾町長

① 中央児童館と斗川児童館は町直営の施設で、雇用は町が行っており、中央児童館は正職員2名、常勤会計年度任用職員4名、パート5名。斗川児童館は再任用職員1名、常勤会計年度任用職員2名、パート1名。

三戸小なかよし教室は教育委員会が教育活動推進員7名を委嘱。

ほっとステーションはNPO法人所属のパート2名。

ミューズ保育園の学童保育は、法人所属の正職員1名。

② 当町では児童数の減少の中にあっても児童館利用者数は横ばいで推移し、利用率が上昇しているため、子育て世代が不安を感じないよう、町直営を継続する。

③ 放課後児童支援員資格保有者は、正職員2名、再任用職員1名、会計年度任用職員8名の計11名おり、これまで保育士等の資格保有者を採用し、

在職しながら支援員の資格を取得してもらい、質の高い保育や支援に努めてきたことから、今後も同様の取り扱いとする。

④ 老人センター利用者は、和室、図書室、浴室が利用スペースであったが、新型コロナウイルス感染症防止のため、和室を児童の食事場所にしたため、和室が利用できなくなっている。今後は新型コロナウイルスの状況を見ながら適宜対応していく。

再質問①

公設公営の学童支援員の多くが、会計年度任用職員となっており、更新や再任用の継続についてどうなっているか、また不安定雇用となっていないか。

A 住民福祉課長

当町では、当初の採用は試験を行い、翌年度はその職員の人事評価、実績などを参考にし、一定程度の成績が認められれば、2年目、3年目と試験なしで更新し、4年目からまた試験を行うという方針をとっている。

再質問②

令和3年度の全学年児童の受け入れもあり、児童が増加し中央児童館内が膨れ上がっている。町営住宅の整備が始まれば子育て世代が増える期待もある。町長には将来的な施設整備などの学童保育に関する考えはあるか。

A 松尾町長

学童保育は働く家庭に非常に重宝されており、職員の確保、保育の質の向上は今後も検討していく。町営住宅についても子育て世代が三戸を選んで定着するよう政策を合わせて成果を導きたいと考えている。

再質問③

人材不足は全国的な社会問題であり、当町の学童施設においても、随時受付で募集されているが、採用予定人数の応募があったのか、周知はどのように行ったか、工夫をしているのか。

A 住民福祉課長

現在募集している放課後児童支援員は、現時点でまだ応募がない。1件問い合わせがあり、そちらを進めたい。周知につ

ては昨年度まで町内を中心に募集していたが、今後は町外、県外と広く募集し、それにあたりハローワークなども活用しながら進めたい。

再質問④

コロナ禍でやむを得ないことは利用者も理解しているが、老人福祉センターの高齢者が利用するスペースが次々と教室に変わっている。コロナが落ち着いたらまた使えるのか、代替の場所はあるのかなど心配しており、情報を伝える場があれば安心できると思うがどうか。

A 住民福祉課長

あくまでも臨時的なコロナ対応であり、状況次第だがいずれは元どりの使用に戻す考えである。情報については、老人センターの所長や職員が随時お話を伺い、また直接お話しして進めていきたい。



利用率の高い中央児童館



栗谷川柳子 議員



Q1 サンノワの株主としての考えについて

定時株主総会は、会社の取締役が株主に1年間の経営成績を報告し、承認を得る場であり、取締役、監査役の選任、役員報酬の金額や剰余金の配当等を決め、経営状況によっては、資本減少、組織再編、会社解散などを取り決める非常に重要なものである。

町は、サンノワの定時株主総会に、筆頭株主として、どのような考えをもって出席するのか。また、令和3年度の事業報告を受け、承認を求められるが、成績が良い場合、悪い場合、それぞれの場合の考えをお聞かせください。

A 松尾町長

町は、サンノワ設立当初から、地域商社としての役割を十分果

たしてほしいと考えており、今後経営改善に取り組み、会社を存続させ、本来の目的が達成できるように求め、応援していきたい。

成績の良し悪しについては、瑕疵や虚偽などが成績悪化につながっていると認められる場合は、株主としての権利を行使し、改善を図る。通常の経営に成績が伴わない場合は、その理由や対処を求め、意見を出す。成績が良好であれば、事業を継続させ、さらに新たな事業領域へのチャレンジを提案する。

3年後の黒字化のため、ふるさと納税のほかにもう一つ柱となる事業を見出し、より安定した収入の確保が必要である。

現在サンノワは自立運営できるように経営改善に取り組んでおり、町も会社の目標が達成できるようにしっかりと見届ける。

再質問①

先日、取締役というの、小さな法人であればあるほど重要なポジションで、経営の経験者や専門域を持つ人がよく、監査役というのは、会計監査だけでなく業務監査を担うものであり、役員報酬も厳しい年は減額、無報酬ということもある。経営状

態がよくないときには資本減少という策もある。組織改編や解散の話もしたが、取締役や担当課では何か考えたことはあるか。

A まちづくり推進課長

議員全員協議会、民生商工常任委員会で説明し、さまざまな意見をいただいた。

これを踏まえて、3月議会で補正予算を計上しようとした、読売広告社保有の株式買い取り金を、専門家の意見を聞き見送ることにした。これは、町が一度立ち止まって、改善点がないか、検討すべき点がないかを考えてのものである。

再質問②

結局は、このまま株式会社で、同じ経営陣で、役員報酬の金額、資本減少、組織再編などの変化を加えずとも、右肩上がりに推移させていけると株主である町長は考えているか。

A 松尾町長

経営陣に特別な瑕疵などがあれば、株主の権利を行使するのが務めだが、メンバーについては全部切り替えなければならぬということではなく、やはり今の経営陣中で判断していただ

かなくては、一義的なものにならない。町としては進むにしてもそうでないにしても、支援をしてきた責任はありますので、しっかりと責任は取っていききたい。

再質問③

経営陣がきちんと責任を果たしているか、経営はしっかりと機能しているか注視するのが、株主の役割だが、町長はいかがお考えか。

A 松尾町長

ご指摘のとおり、しっかりと見ていくものという意見に賛同します。



サンノワと議会の意見交換会のようす

Q2 ゴミ削減の取り組み方法について

① 古着回収の回収方法について。役場に持ち込む方法になっており、「出す古着がたくさんあるが車がないので運べない」という声が毎回あるが、回収方法を見直してもらえないか。

② 役場の封筒について。雑紙分別への配慮として、封筒の窓のセロファンを紙製に変更できないか。

A 松尾町長

① 役場を拠点とした理由は、車による乗り入れが可能であり、回収場所の管理や古着の保管が容易であることのほか、1か所での収集により手数料の負担なしで実施できるためであり、今後も拠点回収で対応したい。

② 現在行っている各課の封筒の使用調査結果を受け適切に対応していく。

リサイクル可能なグラシン窓への変更は印刷単価の上昇が見込まれるが、印刷部数を増やすことで単価を抑制したい。



藤原 文雄 議員



Q1 杉沢小中学校閉校後の校舎活用について

長きにわたり、地域と共に歩んできた町立杉沢小中学校が閉校することになり、2月19日に閉校記念式典が開かれた。今後は生活空間としての地域のあり方について広く議論されるべきと考えるが、まずは、素晴らしい環境の杉沢小中学校校舎の利活用をどのように考えているか伺います。

A 松尾町長

今後の校舎活用について、保護者や地域の方との閉校に向けた懇談会の場で、地域の核である学校がなくなることで、地域づくりが停滞しないよう、意見や要望を伺い、行政として支援することや、全国の廃校施設を拠点にした地域づくり事例の説明を行っている。

現在、地域からは具体的な要望や提案はなく、町も方針が定まっていないことから、今後対話の機会を設け、できる限り地域の意向に沿った活用の検討を進める。

再質問①

コロナで活動が制限される中、杉沢の環境はともよいと思うが、このまま教育財産として活用できないか。

A 教育委員会事務局長

まだ何も決まっていないが、立志科の授業で杉沢小中を使って杉沢地区の文化を学んだり、社会教育では子供会やPTAのキャンプなどに使えるのではないかと考えている。

再質問②

斗内小学校、蛇沼小学校跡地の活用についての取り組み状況は。

A 総務課長

斗内小学校跡地は、建物を解体し更地とし、工事等の業者の駐車場等に貸し出している。蛇沼小跡地は校舎が残っており、町内会で校庭の草刈り等してもらっているが、具体的な活用策はない。

Q2 株式会社サンノワについて

2月の議会全員協議会で、株式会社サンノワの経営状況について、令和3年度の決算で約648万円の損失となる見込みで、更に読売広告社が撤退の方針との報告があった。新聞報道などにより町民の関心も高いことから、地域商社についての町の考えを伺います。

① 会社設立に際し、合弁会社とした根拠と基本方針。

② 3年間の事業総括と目的達成に対する評価。

A 松尾町長

① 地方創生推進交付金の要件のひとつに、官民共同により民間資金の協力を得ることが必要であったこと、地域商社の立ち上げにあたり、民間のノウハウを得られ、初期投資費用を抑えられることから、合弁会社として設立した。
② 売上実績は計画額の62.5%であったが、商品開発点数は目標11点に対し15点、販売チャネル数は目標値19件に対し74件と目標を上回った。

これまで行った商談会や物販イベントにより、特産品のPRや販売も行ってきた実績を今後の経営に生かし、売り上げをさらに伸ばせるよう、また三戸町ブランドが全国に認知され、1年でも早く黒字化を達成できるよう、町も応援していく。

再質問①

読売広告社の撤退にあたり、新しい出資者を探す考えはないのか。

A まちづくり推進課長

現在サンノワから向こう3年後の黒字化の事業計画書が提出されており、またこれまでの実績や農家、バイヤーとの関係も無駄にすることなく前に進めるため、新しい出資者は考えていない。

再質問②

これまでの実績と3年間の計画書が提出されたが、3年間の実績を見ると会社は危機的状況にあると考えるが、町長の認識は。

A 松尾町長

数字を見る限りでは、3年間での持続、自立には至っていない

が、今後の見とおしとして、ふるさと納税の支援、また新たな柱を立てる工夫等あれば、可能なのではないかと考える。

再質問③

町が100%の株主となった場合、もしサンノワが資金不足になったら、町は資金提供するのか。

A 松尾町長

まずはそうならないよう努めなければならぬと思うが、運営、存続のための予算として税金を投入する考えはない。

再質問④

資金調達について一番危惧している。赤字であれ黒字であれ、資金がなくては事業を回せない。最低限町が関わらない資金調達を計画しなければ事業が止まってしまうと考えるが、町長の考えは。

A 松尾町長

資金繰り等、議員の皆さんからの意見をしっかり受け止めつつ、会社組織なので取締役会からの主体的な提案も尊重していきたい。



越後 貞男 議員



Q1 果樹生産省力化設備整備事業費補助金について

果樹の栽培に欠かすことのできない薬剤散布には、スピードスプレーヤーが必要であり、防除組合が管理するスピードスプレーヤーの導入にあたっては「果樹生産省力化設備整備事業費補助金」を活用することができると。本来、スピードスプレーヤーは2名のオペレーターが交代で運転するものであるが、組合員の減少でオペレーターも不足し、1人で1日中運転している現状である。また、夏場の熱い中の作業では、キャンビン付きスプレーヤーはオペレーターに負担をかけず効率的に散布作業ができる。

これらのことから、果樹生産省力化設備整備事業費補助金について2点質問します。

①現在、町に防除組合は何組合あり何台導入されているか。
②果樹生産省力化設備整備事業費補助金（スピードスプレーヤー）は、3分の1補助で上限250万円となっているがその根拠は。

A

松尾町長

① 2010年の農林業センサスでは、果樹栽培経営体数は251経営体、面積が309haだったものが、2020年では185経営体、面積が252haと激減している。現在、共同防除組合は10団体あり、組合が所有するスピードスプレーヤーは27台となっている。1台あたりの作業可能面積は約10haであり、現在のりんご栽培面積に対して必要な台数が整備されている。

② スピードスプレーヤーは果樹の防除作業に欠かすことができない農業機械であるため、平成3年度から、県の補助事業を活用し、町の補助も加え上限249万9千円で助成を開始したが、平成17年に県がスピードスプレーヤーの整備が達成されたとして上限額を231万1千円に改め、そ

の年度で事業を廃止したことにより、平成18年からは町の単独事業として補助率2分の1、上限額231万1千円で実施している。

当初は平成26年で事業廃止予定だったが、生産者の要望により事業を見直し、補助率2分の1、上限200万円です。

再事業化し、平成28年度は排ガス規制対応エンジンにより本体価格が上昇し、上限額を250万円に引き上げた。補助率は未整備の共同防除組織がなく、機械更新時の補助となっているため、3分の1へ引き下げ、現在まで継続している。

キャンビン付きのスピードスプレーヤーの導入は、気温上昇への対応、持続可能な農業の発展に必要ととらえており、改植等の園地整備と合わせて支援していく。

再質問①

来年度予算に242万円計上されているが、これは性能の低いスプレーヤーだと思われる。高性能のものはキャンビン付きで950万円、なしで840万円という金額になり、3分の1の補助金では組合、ひいては農家の負担が大きいため、補助金額を上げられないか。

A

農林課長

来年度に更新を希望する団体から、どういう機種を選ぶかという要望調査を基に予算を要求しており、防除組合の要望に沿った形となっている。平成28年に、キャンビン付きのミドルクラスが750万円程度であったため上限250万円とし、今後

再質問②

それは上限250万円にこだわらないということか。

A

農林課長

本体価格が上がっていくと、その分負担も大きくなるため、その時の状況により勘案しながら判断させていただきたい。

再質問③

補助金が250万円と300万円では、選ぶ機種も違ってくるため、上限額ははっきり打ち出してほしいがどうか。

A

農林課長

スプレーヤーの価格がどのぐらい値上げされるのか勘案しながら、次の導入を予定している防除組合の要望を聞いて判断したい。各防除組合の事情もあると思われるため、打ち合わせをし、要望に添うような予算としたい。

まとめ

スピードスプレーヤーは果樹生産に欠かせない機械である。現在27台のスプレーヤーがあり、毎年1台の更新であれば、1台のスプレーヤーを27年間持たせる必要があり、ミドル級では長く持たないと考え。

エンジン出力、吐き出し量、風量が低いと、まんべんなく薬がかからず質の悪い果物となる。何とかキャンビン付きの普通の共防向けスプレーヤーを導入できる環境をつくっていただきたい。



第502回 三戸町議会定例会議決結果一覧

議案番号	件 名	議決月日	議決結果
意見書案 第1号	水田活用の直接支払い交付金見直しについて対応を求める意見書案 【概要】水田活用の直接支払い交付金見直しに、慎重かつ適切な対応を求める意見書を国へ提出するもの。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第2号	押印等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について 【概要】町の行政手続きの押印原則を見直し、手続きの簡素化、効率化を図るもの。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第3号	三戸町議会議員及び三戸町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の制定について 【概要】選挙運動用自動車、ビラ、ポスターの作成経費の公費負担額等を定めるもの。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第4号	三戸町公共施設整備基金条例の制定について 【概要】公共施設更新等の経費の、将来的な負担を軽減するため、基金を設置するもの。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第5号	三戸町個人情報保護条例の一部を改正する条例案 【概要】国の、個人情報に関する法律の一本化により、引用する条例文を改正をするもの。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第6号	三戸町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】町の非常勤職員の育児休業取得要件を緩和するほか、取得しやすい環境整備を行うもの。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第7号	三戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例案 【概要】未就学児の国民健康保険税を2分の1に軽減するもの。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第8号	三戸町消防団の設置及び定員、任免服務等に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】消防団員の報酬の増額と、半日出勤区分を新たに設定するもの。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第9号	町道路線の変更について 【概要】町道茶屋場線の終点を、現況に合わせて変更するもの。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第10号	辺地に係る総合整備計画を定めることについて 【概要】令和4年度から8年度の5年間で、老朽化している簡易水道設備の更新を行うため、計画を定めるもの。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第11号	三戸町人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて 【概要】佐野奈美子氏を、引き続き委員として推薦するもの。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第12号	三戸町人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて 【概要】西野敏倫紀氏を新たに委員として推薦するもの。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第13号	令和3年度三戸町一般会計補正予算(第10号) 【概要】歳入歳出ともに3億1106万円増額。主な歳入は地方交付税など。主な歳出は公共施設整備基金積立金3億5488万円など。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第14号	令和3年度三戸町下水道事業特別会計補正予算(第1号) 【概要】歳入歳出ともに270万円増額。主な歳入は国庫支出金723万円等の増額、町債1290万円の減額。歳出は事務費1496万円の増額、下水道建設費1178万円の減額。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第15号	令和3年度三戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 【概要】歳入歳出ともに148万円の増額。主な歳入は後期高齢者医療保険料129万円など。歳出は後期高齢者医療保険料負担金284万円の増額など。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第16号	令和3年度三戸町介護保険特別会計補正予算(第2号) 【概要】歳入歳出ともに717万円の減額。主な歳入は支払基金交付金2821万円の減額、繰越金3269万円の増額など。歳出は事務費2977万円の増額、保険給付費3440万円の減額など。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第17号	令和3年度三戸町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号) 【概要】歳入歳出ともに1億1932万円の増額。主な歳入は県支出金1億952万円など、歳出は保険給付費1億353万円など。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第18号	令和3年度三戸町国民健康保険直診勘定三戸中央病院事業特別会計補正予算(第2号) 【概要】新型コロナウイルス感染症入院患者病床確保事業費補助金2632万円などによる、収益的収入3212万円の増額。給与、経費など1777万円の減額による収益的支出1778万円の減額。	3月9日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案第19号から 議案第26号	令和4年度三戸町一般会計予算、各特別会計予算 (※4～5ページ参照)	3月11日	原案可決 (賛成13・反対0)
議案 第27号	三戸町消防団の設置及び定員、任免服務等に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】消防団員の年額報酬を引き上げるもの。	3月11日	原案可決 (賛成13・反対0)

議案審議

将来的な役場庁舎等の 維持管理のため基金を設立

主な議案と質疑

■議案第4号

三戸町公共施設整備基金
条例の制定について

毎年の定期的な積み
立てはできないか？

Q 佐々木 和志 議員

今年度2億円の積み立てで
あるが、将来のため1000
万円でもいいので定期的に積
み立てる考えはないか？

A 総務課長

議員の意見も参考に、来年
度の財政の状況も把握して対
応していきたい。

■議案第13号

令和3年度一般会計補正
予算（第10号）

防災無線等改修工事請
負費減額の理由は？

Q 山田 将之 議員

防災無線等改修工事費減の
理由と工事の進行状況は？

A 防災危機管理室長

減額は入札で生じた残額の
減額。現在は工事ではなく機
械の製造を進めており、4年
度から工事に入る予定。

出産祝金減額の
理由は？

Q 久慈 聡 議員

出産祝金が少なくなっている
が、ひとり当たりの金額と減額
の理由は？

A 住民福祉課長

ひとりあたり10万円の給付
額で、40人を見込んでいた
が、34名の支給見込みとなっ
たため。

■議案第11号、12号

三戸町人権擁護委員の候
補者の推薦につき意見を
求めることについて

令和3年12月31日で任期満
了した委員の後任に、西野敏
愉紀氏を推薦し、令和4年3
月31日をもって任期満了とな
る佐野奈美子氏を再び推薦す
るもの。



西野敏愉紀 氏



佐野奈美子 氏

第501回 三戸町議会臨時会

1月27日、第501回三戸町議会臨時会が開催されました。案件は、令和3年度分の住民税均等割り非課税の1600世帯に、6000円分の助成券による灯油購入費助成のため、一般会計既決予算額に、歳入歳出ともに974万円が追加されました。

議案番号	件 名	議決結果（議長をのぞく）
議案第1号	令和3年度三戸町一般会計補正予算（第9号）	原案可決（賛成13・反対0）

請願・陳情

審査結果

陳情第4号（令和3年）

加齢性難聴者の補聴器購入への
公的補助制度創設を求める陳情

【陳情の要旨】

三戸町独自の補聴器購入への
公的補助制度創設を議会で決議
してほしい。

【民生商工常任委員会の意見】

補聴器が必要なほどの難聴で
あれば、まずは病院で診察し、
障害の度合いに応じて公的補助
を受けるべきである。

【審査結果】 不採択

陳情第1号

「最低賃金の改善と中小企業支
援の拡充を求める意見書」の採
択を求める陳情

【陳情の要旨】

全国一律1500円以上の最
低賃金と、中小企業が経営維持
できるよう支援を求める意見書
を国へ提出してほしい。

【民生商工常任委員会の意見】

コロナ禍で中小企業が経営維
持に全力を注いでいる中、賃上
げへの言及は時期尚早である。

【審査結果】 不採択

議員活動レポート



Facebook
でも発信中!!

総務文教常任委員会

山田 将之・千葉 有子
小笠原君男・越後 貞男
佐々木和志

【調査事項】

町立図書館の管理運営状況について

三戸南部氏の歴史について

1月18日、町立図書館の管理運営状況および三戸南部氏の歴史について、教育委員会事務局からの説明を受け、調査しました。

【主な調査結果および意見等】

①図書館の利用者の増加に向けた取り組みについて

子どもの読書離れが指摘される中、「おはなしのへや」などの図書館事業をさらに充実させるとともに、小学校との連携・協力を進め、子どもの読書活動の推進に努めてもらいたい。また、蔵書の充実に努めるとともに、図書館に足を運んでもらえる工夫をするなど、一般利用者の増加に努めてほしい。

②図書館の環境整備等について

図書館を快適に利用してもらえよう、玄関前の水たまりの解消や、駐車スペースの確保など、利用者の視点に立った環境整備に努めてほしい。

また、屋根の大規模改修にあたっては、費用対効果の面からも、現在使われていない視聴覚室や会議室などの活用方法を明確にしておく必要がある。



民生商工常任委員会

藤原 文雄・栗谷川 柳子
柳 零 圭太・乗上 健夫
竹原 義人

【調査事項】

地域商社サンノワの運営状況について

2月2日、まちづくり推進課からサンノワの運営状況について、青森銀行三戸支店岩山支店長から町内経済の現状について説明いただき、調査しました。

【主な調査結果および意見等】

サンノワの運営状況について

サンノワは、強靱な株主が撤退し、危機的状況にある。今後会社の存続を目指すのであれば、組織体制の強化が求められる。

そのため、経営組織体制の見直し、経営者を含む新たな出資者の募集等、あらゆる可能性を総合的に検討しつつ、赤字を圧縮しながら、経営責任をもって地域商社本来の目的を果たしてほしい。



建設農林常任委員会

久慈 聡・番屋 博光
和田 誠・澤田 道憲

【調査事項】

陳情採択された町道等の 状況について

1月26日、これまでに陳情が採択された町道等の状況について、また町道沿線上の木の枝の伐採、関根1号線の進ちよく状況について、現地で建設課から説明を受け、調査しました。

【主な調査結果および意見等】

陳情や要望を受けた案件について、これまで委員会が優先順位を決定し



たものを再確認し、さらに今年度調査した新たな案件を加え、優先順位の再評価を行った。今回の調査結果を参考に、建設課が精査を行い、計画的に事業を執行するよう検討してほしい。

図書運営委員会

千葉 有子・栗谷川 柳子
柳 零 圭太・和田 誠
番屋 博光

「議会図書室だより」

最新号刊行」



3月17日、議会図書室の運営を行う図書運営委員会が、議会図書室だより最新号を刊行しました。図書室だよりは、令和2年秋から、9月と3月の2回発行しており今回で第4号となります。

記事は委員が交代で執筆しており、今回は三戸町出身の小説家である高森美由紀さんのプロフィールや、著作の紹介のほか、選挙についてのコラムが掲載されました。

議員研修会

議会基本条例策定 に向けて

1月28日、三戸町議会主催の議員研修会を開催しました。

三戸町議会では令和4年度中に、議会のあるべき姿を明文化する「議会基本条例」の策定を目指していることから、全国各地の議会のアドバイザーとして活躍されている、十和田市出身で早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員の佐藤淳氏を講師に迎え、研修を行いました。

研修では「議会のありたい姿と議会基本条例」議会からの政策サイクルと議員間討議」をテーマに講演がおこなわれ、佐藤氏は「三戸町は議会改革施策にぜひ取り組んでいくが、議会基本条例がないままではゴールの見えない海に漂っているようなもの」と、議会基本条例の重要さを説き、また、ただ策定するだけでなく、基本条例どおりに議会活動がなされているかを振り返ってチェックすることこそが重要であると強調しました。

佐藤氏に背中を押され、今後議会運営委員会が中心となり、議会基本条例の策定作業が進められます。



常任委員等が 改選されました。

3月19日で2年間の任期が満了となり、3月20日から下記の議員によって構成される委員会の活動がスタートしました。

議会運営委員会

議会の円滑、効率的化のため、議会運営に関する各種協議を行う委員会



委員長
藤原 文雄



副委員長
久慈 聡



委員
小笠原君男



委員
山田 将之



委員
栗谷川柳子



委員
千葉 有子

総務文教常任委員会

総務や財務、税務、消防、教育に関する事務などを所管する委員会



委員長
千葉 有子



副委員長
山田 将之



委員
小笠原君男



委員
越後 貞男



委員
佐々木和志

民生商工常任委員会

商工業や民生、社会福祉、国民健康保険、三戸中央病院に関する事務を所管する委員会



委員長
栗谷川柳子



副委員長
藤原 文雄



委員
柳 圭太



委員
乗上 健夫



委員
竹原 義人

広報編集委員会

さんのへ議会だよりの編集を所管する委員会



委員長
山田 将之



副委員長
栗谷川柳子



委員
藤原 文雄



委員
千葉 有子



委員
久慈 聡



委員
佐々木和志

建設農林常任委員会

土木や建設、水道、農林業および都市計画に関する事務を所管する委員会



委員長
久慈 聡



副委員長
番屋 博光



委員
和田 誠



委員
澤田 道憲

第503回 定例会 (6月議会) 予定

6月6日(月)	開会、町長による議案提案理由の説明
6月7日(火)	議案熟考のため休会
6月8日(水)	一般質問
6月9日(木)	一般質問(予備日)、議案審議・採決、閉会

編集後記



3月の定例会で設置・付託された予算特別委員会では、令和4年度の歳入歳出予算案の質疑後にもう一度議員間で討議を行い、慎重に採決しました。

また委員会の改選があり、新たな体制で各委員会の機能が向上するよう、引き続き活発な委員会活動を行うてまいります。

3月、三戸城跡が国史跡に指定されたという明るいニュースを大きなチャンスとして、町の活性化につなげられるよう、皆さまの声をもとに町に要望を出しています。

特集ページには、商工会会員の方との意見交換会のような掲載しました。2月に予定していた「町民との交流会」が延期となったことは非常に残念でしたが、それでも皆さまからの声をお聞きしたくアンケート調査を行いました。その結果は次号でお知らせする予定です。たくさんのご協力ありがとうございました。

(栗谷川 柳子)

三戸町議会広報編集委員会
委員長 山田 将之
副委員長 久慈 聡
委員 藤原 文雄
委員 栗谷川 柳子

委員 千葉 有子
委員 佐々木 和志